

水引地区コミ協便り

みずひき



第7号

令和7年11月18日発行

水引地区コミュニティ協議会

☎&FAX0996-26-3849

第21回 薩摩川内市地域対抗フットボール大会

10月18日と19日に薩摩川内市地域対抗フットボール大会が開催されました。水引チームは初戦の宮崎（権現原）に17対16で逃げ切り。翌朝にベスト4をかけた試合へ臨みましたが、育英に16対11（後攻）と、あと一歩が及ばず涙を流しました。今村主将は来年のリベンジを誓いました。皆様お疲れ様でした。



社会福祉部会がグループワークで勉強会 各地区の問題点を洗い出し！

昨年の社協の問い合わせで一番多かったのがゴミ出しについての問題。水引ではどの様な対応を行っているのか、3チームに分かれて話し合いました。江ノ口では、14人ほどの呑ん方グループが、芝刈り等のヘルプ部隊を結成しているそうです。報酬は一升瓶らしいとのことですよ。

最後は全員にeスポーツのボウリングに触れてもらいました。皆さんなかなか真剣でした。



ひな祭りに向けて 女性学級が「展示作品作りを開始

10月の女性学級は、来年3月のひな祭りに向けて、さるぼぼ作りを始めました。来月の女性学級で完成を目指します。



「さるぼぼ」とは？

岐阜県飛騨地方で古くから作られている、猿の赤ちゃんに似た人形です。母親が娘の安産や夫婦円満、子どもの健やかな成長を願って作られ、厄除けや縁結びのお守りとして使われています。



検診車で手軽に がん検査を受けましょう

10月20日にコミセンに、がん検診車が参上しました。定期的な検診は健康な生活を送るために必要です。面倒くさがらずに、毎年検診を受けましょう。



当紙面をカラー又は拡大してご覧になれます。左記のQRコードをスマホで読み取ると簡単です。



水引地区からの
お知らせの下に
水引地区コミュ
ニティ協議会便
りがあります。

秋空に広がる琴音に うっとり

うっとり

大正琴はその名のとおおり大正元年に名古屋の「森田吾郎」の手によって造られた日本独自の楽器です。数字譜に書かれた数字のキーを押しながら弾くだけで、メロディーになる簡単な楽器です。

手にしたその日から、邦楽・洋楽・歌謡曲・演歌など幅広い音楽を演奏でき、年齢を問わず楽しめます。老化防止は指先からといえます。

さあ、あなたも今日から仲間入りしてみませんか。

【自主学級 大正琴】
第二・四水曜日

午後一時半～



コミセン窓から

柿が赤くなると医者が青くなる話

この季節になると聞く言葉ですが、柿が色づく秋は気候が良く、栄養豊富な柿を食べることで人々が健康になり病人が減るため、医者が商売あがったりになるという意味のことわざです。

旬の食材には、その季節の気候から体を守る働きがあると考えられています。

一方で近年は「ハウス栽培」や「輪作」という方法に依って、好きな野菜が一年中食べられるようになりました。冬でも毎晩きゅうりやトマトで晩酌という方も、珍しくないかと思えます。(実は筆者も)

夏野菜で代表的なトマトやキュウリなど、体を冷やす作用を持つ夏野菜は、夏の暑さから体を守り、大根やごぼうなど、体を温める作用のある冬の根菜は、冬の寒さに耐える力を与えてくれます。

夏に冬の野菜を摂ったり、冬に夏の野菜を摂ったりして、体調に異変を感じているとしたら、自然界の治癒力に逆らっていないか、今一度考える必要があるのではと筆者は思います。旬の物という言葉を見直しましょう。

季節の食材の話で「秋茄子は嫁に食わすな」ということわざもありますが、それはまた別の機会に。(大迫)

